

令和4年度第4回在宅医療介護連携@つちうL a b o 参加者アンケートの結果

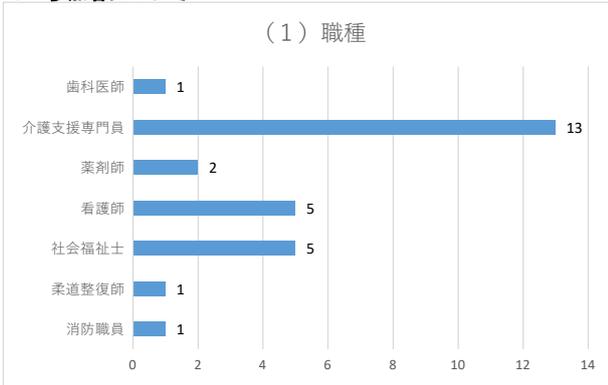
日時：令和5年1月26日（木） 18時30分～20時

出席者：29名

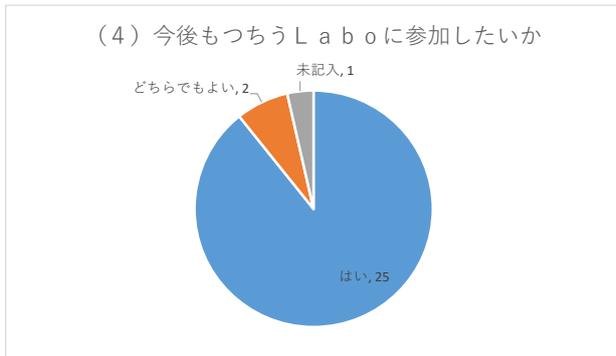
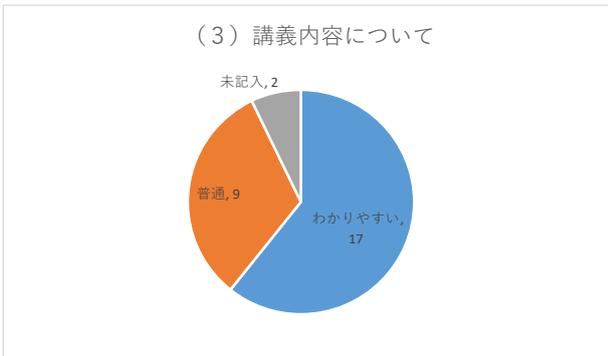
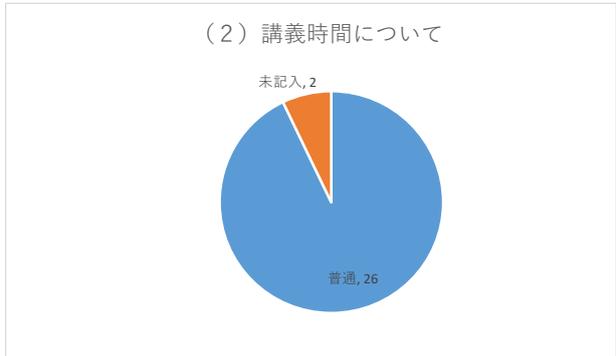
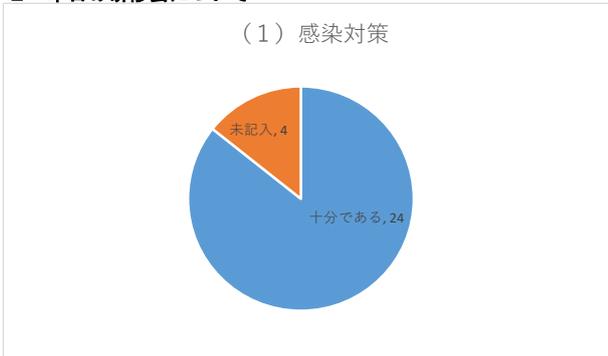
場所：土浦市消防本部 3階講堂

アンケート回答数：28名（回答率：96.6%）

1 参加者について



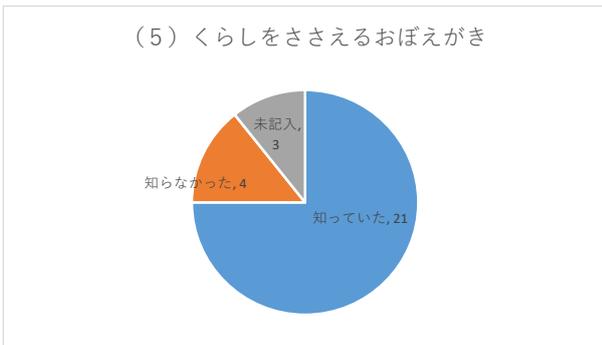
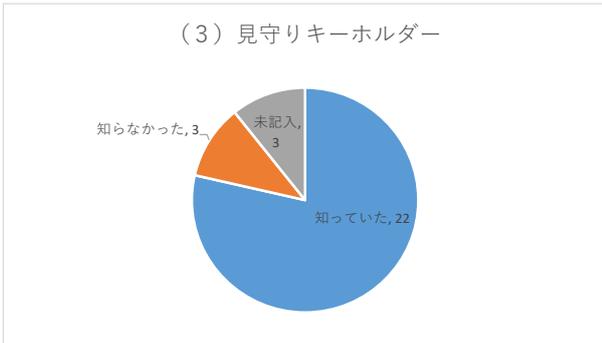
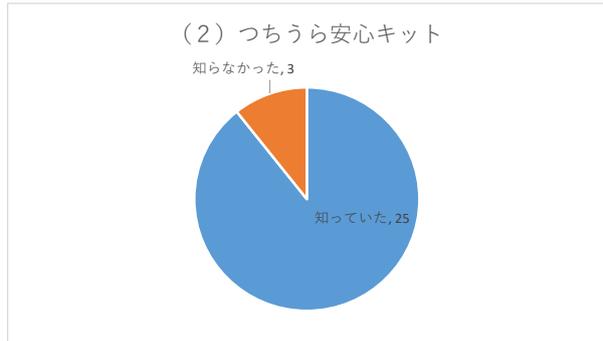
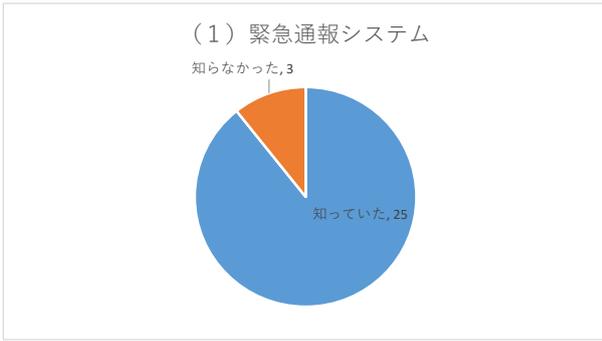
2 本日の研修会について



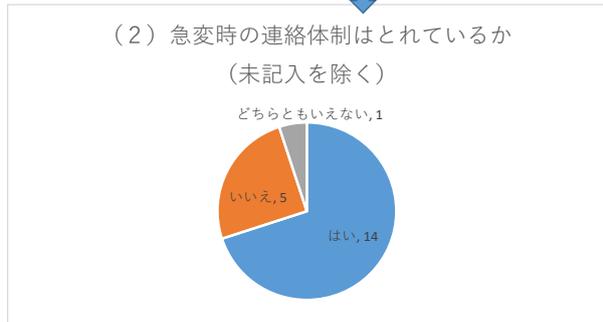
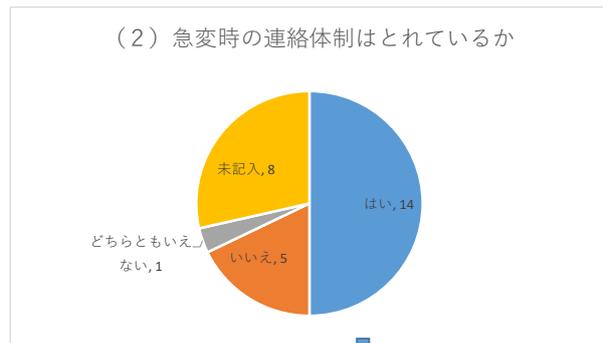
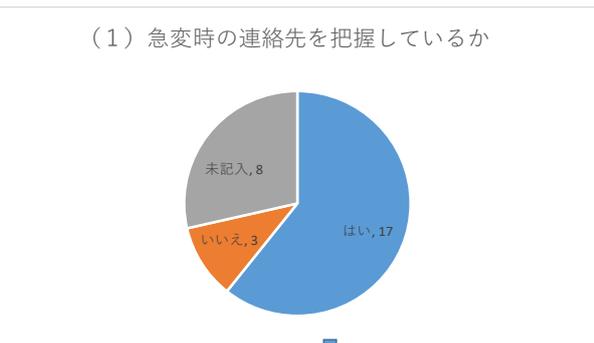
3 本日の内容で参考になった、今後取り組もうと思った内容はありましたか？

- ・Live119スマホを利用した映像通報システムの内容。
- ・安心キットなどの利用をすすめたい。
- ・在宅医療グループ、在宅119。
- ・安心キットの普及啓発活動。
- ・在宅ケア連携手帳を案内してみる。
- ・緊急通報システム設置の把握。
- ・つちうら安心キットの活用。
- ・急変時の対応シートはできるだけ多く使用してもらえようアドバイスしていこうと思った。
- ・安心キットの設置。シールがきちんと貼ってあるか見直しをする。内容も新しいものにする。
- ・意思決定、心肺停止になったときどのようにしてほしいか、事前に確かめておく必要がある。
- ・安心キットを配布した方のシール貼付の確認。受け持ち担当者の病歴の確認など救急搬送時に必要な情報をあらかじめ確認しておく。
- ・安心キットの配布、手帳の配布。
- ・在宅119の普及、市内の病院へもアナウンスしていく。
- ・Live119について、テレビの報道ニュースで知っていましたが、東京都のみの運用だと思っていましたので、茨城県で運用されていること知り参考になりました。
- ・救急対応について知らないことをいろいろかがうことができました。
- ・情報がある程度まとめる、伝えられるようにしておくこと。
- ・救急車の移動の大変さ。水戸の指令室につながる事が理解できた。必要な情報がわかりやすい安心キットの活用率をあげていく。何かあったときの安心のためにも大事である。
- ・意思決定支援。

#### 4 土浦市のサービスについて



#### 5 患者の急変時の対応について



#### (3) 急変時の対応でうまくいかなかったと思う事例

- ・自分が担当していた独居高齢者が自宅で亡くなっていた時、対応が遅れて救急車を呼ぶのに時間がかかってしまった。

- ・中には連絡先のない人もいる。
- ・DNARが示されているが、その情報が病院職員に伝わらず、望まない処置がされることが稀にある。
- ・同乗者がいないため、搬送できなかったことがありました。
- ・家族と連絡が取れない。病院が見つかるのに時間がかかった。

#### **(4) 急変時の対応でうまくいったと思う事例**

- ・在宅119のシステムでスムーズな搬送となったことがある。
- ・かかりつけ医と総合病院の連携（病状の把握や個人情報）がうまくつながり、大事にいらなかった。

#### **(5) 急変時の対応について、課題だと思うこと**

- ・家族間との急変時の対応や延命治療を望まれるかの事前の話し合いが大切かと思います。
- ・独居、身寄りがない方（生活保護受給者以外）の対応。
- ・病院と地域との連携がまだまだ不足している。病院側から色々と発信していけるようにしたい。
- ・意思決定代理が決まっていない場合。

#### **6 今後、どのようなテーマの研修会や意見交換会を行ってみたいですか？**

（看護師）

- ・災害時対応どのようにしているか、多職種で検討。地域の対策を共有したい。

（介護支援専門員）

- ・BCPについて

#### **【自由記述】**

- ・様々な職種での課題も見え、非常に勉強になりました。来年度も参加させていただきたいです。
- ・遅い時間ありがとうございました。